

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 株式会社 ミロク情報サービス
 コード番号 9928 URL http://www.mis.co.jp

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理 本部長 (氏名) 滝本 訓夫

TEL 03-5361-6369

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,697	—	94	—	87	—	△59	—
20年3月期第1四半期	4,006	△12.2	△430	—	△425	—	△479	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△1.84	—
20年3月期第1四半期	△14.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	15,657	—	7,760	—	49.6	—	240.78	—
20年3月期	15,404	—	8,124	—	52.7	—	252.16	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,760百万円 20年3月期 8,124百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	12.00	12.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,516	3.2	439	302.1	417	233.3	192	610.4	5.99
通期	19,200	0.6	1,037	24.5	980	18.3	483	43.4	14.99

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 34,615,286株 20年3月期 34,602,286株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,383,862株 20年3月期 2,382,498株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 32,231,860株 20年3月期第1四半期 32,086,047株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月12日発表の通期業績予想は、修正していません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油や穀物をはじめとする資源・原材料価格の高騰や米国サブプライムローン問題に端を発した金融・株式市場の混乱等により、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

一方、当社グループが属するソフトウェア業界及び情報サービス業界におきましては、金融商品取引法の施行等に関連し、企業の内部統制システムの構築や情報セキュリティ対策の強化、さらに効率的な経営・業務推進等に向けた情報化投資の需要増により、全般的に堅調に推移いたしました。

当連結会計年度は、平成19年11月20日に公表いたしました当社グループにおける中期経営計画（平成21年3月期～同23年3月期）の初年度にあたります。これにより当第1四半期連結会計期間から本経営計画の基本方針である「安定的な収益基盤の確立と継続的な業績拡大の実現」に向けた本格的な取り組みを開始しております。具体的には、市場シェア拡大に向けた積極的な新規顧客開拓のための体制整備、安定収益の拡大に向けた中小企業向け戦略商品の拡販、さらに各種サービス品質の向上、サービス内容の充実・強化に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高46億97百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益94百万円（同5億24百万円増）、経常利益87百万円（同5億12百万円増）、四半期純損失59百万円（同4億19百万円増）と増収増益となりました。

なお、投資有価証券評価損1億22百万円を特別損失として計上しておりますが、市場価格のある有価証券の評価につきましては、四半期洗替え法を適用しております。

また、前年同期比較におきましては、前連結会計年度より従来の出荷基準から製商品の販売に付随する役務提供の完了時に売上を計上する方法に会計処理を変更したため、前第1四半期連結会計期間の業績は、当該会計処理の変更に伴う影響が生じております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 連結財政状態

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億52百万円増加して156億57百万円となりました。主に現金及び預金の減少1億82百万円、受取手形及び売掛金の増加2億10百万円、棚卸資産の増加58百万円、固定資産の増加1億13百万円によるものであります。

負債の部は前連結会計年度末に比べ6億16百万円増加しております。主に借入金の増加5億57百万円によるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ3億63百万円減少して77億60百万円となりました。また、自己資本比率は49.6%となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1億82百万円減少し31億24百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7百万円の減少となりました。

これは主に、減価償却費1億8百万円及び投資有価証券評価損1億22百万円などの収入要因はあったものの、法人税等の支払額2億56百万円等の支出要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億27百万円の減少となりました。

これは主に、保険積立金の解約による収入30百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出2億22百万円、投資有価証券の取得による支出1億41百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億52百万円の増加となりました。

これは主に、借入による収入が純額で5億57百万円、配当金の支払3億86百万円及び利息の支払15百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期業績予想につきましては、平成20年5月12日に発表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

⑤税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

③所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,133,100	3,315,623
受取手形及び売掛金	3,142,920	2,932,665
商品	233,003	223,181
仕掛品	87,399	39,198
その他	810,307	747,506
貸倒引当金	△41,165	△32,402
流動資産合計	7,365,565	7,225,772
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,729,912	2,729,912
その他(純額)	1,581,941	1,546,580
有形固定資産合計	4,311,854	4,276,493
無形固定資産		
のれん	86,798	96,919
その他	1,459,309	1,405,681
無形固定資産合計	1,546,108	1,502,600
投資その他の資産		
その他	2,493,038	2,458,650
貸倒引当金	△58,845	△58,590
投資その他の資産合計	2,434,192	2,400,060
固定資産合計	8,292,155	8,179,154
資産合計	15,657,721	15,404,927
負債の部		
流動負債		
買掛金	877,393	1,034,614
短期借入金	2,350,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	593,140	699,340
未払法人税等	43,281	278,395
賞与引当金	141,226	310,692
その他の引当金	21,939	19,000
その他	2,392,198	1,761,517
流動負債合計	6,419,179	5,903,560
固定負債		
長期借入金	1,333,660	1,219,545
引当金	69,861	95,068
その他	74,349	62,127
固定負債合計	1,477,870	1,376,741
負債合計	7,897,050	7,280,301

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,189	3,198,176
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	2,370,568	2,816,433
自己株式	△790,979	△790,629
株主資本合計	7,791,167	8,237,369
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,047	△77,996
繰延ヘッジ損益	△23,449	△34,747
評価・換算差額等合計	△30,496	△112,743
純資産合計	7,760,670	8,124,625
負債純資産合計	15,657,721	15,404,927

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	4,697,728
売上原価	1,900,848
売上総利益	2,796,880
返品調整引当金戻入額	19,000
返品調整引当金繰入額	21,939
差引売上総利益	2,793,940
販売費及び一般管理費	2,699,818
営業利益	94,122
営業外収益	
受取利息	3,351
受取配当金	4,149
その他	7,094
営業外収益合計	14,594
営業外費用	
支払利息	19,985
その他	1,062
営業外費用合計	21,047
経常利益	87,669
特別利益	
保険解約返戻金	4,527
その他	66
特別利益合計	4,594
特別損失	
固定資産除却損	1,243
投資有価証券評価損	122,041
特別損失合計	123,285
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,021
法人税等	28,206
四半期純損失(△)	△59,227

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,021
減価償却費	108,042
のれん償却額	10,120
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,017
賞与引当金の増減額(△は減少)	△169,466
その他の引当金の増減額(△は減少)	△22,267
受取利息及び受取配当金	△7,500
支払利息	19,985
投資有価証券評価損益(△は益)	122,041
固定資産売却損益(△は益)	1,243
売上債権の増減額(△は増加)	△210,523
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,918
仕入債務の増減額(△は減少)	△157,221
その他	565,188
小計	248,558
法人税等の支払額	△256,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△50,373
有形固定資産の売却による収入	80
無形固定資産の取得による支出	△172,055
投資有価証券の取得による支出	△141,204
投資有価証券の売却による収入	81
利息及び配当金の受取額	7,500
その他	28,285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,150,000
短期借入金の返済による支出	△600,000
長期借入れによる収入	350,000
長期借入金の返済による支出	△342,085
株式の発行による収入	13
自己株式の取得による支出	△349
配当金の支払額	△386,979
利息の支払額	△15,133
その他	△2,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,913
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△182,523
現金及び現金同等物の期首残高	3,307,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,124,810

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	4,006
II 売上原価	1,777
売上総利益	2,228
返品調整引当金戻入額	29
返品調整引当金繰入額	27
差引売上総利益	2,230
III 販売費及び一般管理費	2,661
営業損失	430
IV 営業外収益	24
受取利息	0
受取配当金	8
負ののれん償却額	9
持分法による投資利益	0
雑収入	5
V 営業外費用	19
支払利息	18
雑損失	0
経常損失	425
VI 特別利益	0
投資有価証券売却益	0
VII 特別損失	17
前期損益修正損	15
固定資産除却損	2
税金等調整前四半期純損失	442
税金費用	39
少数株主損失	3
四半期純損失	479

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△442
減価償却費	72
自社利用ソフトウェア償却額	93
のれん及び負ののれん償却額	△0
投資有価証券売却益	△0
貸倒引当金の増減額	16
賞与引当金の増減額	△167
返品調整引当金の増減額	△2
受取利息及び受取配当金	△9
支払利息	18
持分法による投資損益	△0
有形固定資産除売却損	2
売上債権の増減額	2,575
たな卸資産の増減額	94
仕入債務の増減額	△2,093
営業貸付金の増減額	△556
その他	200
小計	△197
法人税等の支払額	△281
営業活動によるキャッシュ・フロー	△478
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△23
無形固定資産の取得による支出	△170
無形固定資産の売却による支出	0
投資有価証券の取得による支出	△0
投資有価証券の売却による収入	4
子会社株式の取得による支出	△18
長期前払費用の取得による支出	△3
利息及び配当金の受取額	9
その他	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	1,960
短期借入金の返済による支出	△410
長期借入による収入	200
長期借入金の返済による支出	△156
株式の発行による収入	0
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△385
利息の支払額	△7
その他	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,197
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	510
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	3,436
Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高	3,947